

## 第 2 回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成 2 0 年 6 月 4 日 ( 木 ) 午後 2 時 30 分 ~ 午後 5 時 00 分

2 場 所 役場 2 階 審議室

3 出席者

《 構 成 員 》 田浦副町長、北川総務課長、田中町民生活課長、岡崎保健福祉課長、伊藤産業振興課長、北向建設水道課長、前田教育振興課長

《 説 明 員 》 吉岡子育て支援主幹、大石福祉対策主幹

《 庶 務 》 総務課企画財政班 石田主幹、新井主任

4 内 容

1 障害者、高齢者、子どものふれあい共生事業について

[担当課から資料により説明]

現状、課題解決のため、次の事項の実施について協議したい。

- ・ 障害のある人を日中預かる場所の確保、子どもが集うためのソフト面、ハード面の環境の整備、高齢者の閉じこもりを防ぐための交流親睦の場の創設を図ること。
- ・ 平成 2 0 年度で、既存の子育て支援センターを改修し、対応すること。
- ・ 上記実施のため、地域介護・福祉空間等整備事業における市町村提案事業（ 3 , 0 0 0 万円以内）を活用すること。

[協議内容(全体)]

- ・ 現状の施設は老朽化が激しいため、改修は必要。
- ・ 今現在、行っている事業に支障がないように実施するべき。
- ・ 暖房を個別暖房にするなど、施設改修についての精査が必要。
- ・ 事業費予算の精査が必要。
- ・ 行政としての計画、運用方針が必要。
- ・ 他の課で行っている事業との役割分担を調整する必要がある。

[総 括]

- ・ 施設の老朽化もあることから、事業開始にあわせ整備していく。
- ・ 今回は事前評価前の事前打合せとし、担当課で事業実施にむけ、細部を検討のうえ、再度、政策調整会議で協議することとする。

2 人道跨線橋の改築計画について

[担当課から資料により説明]

- ・ 昭和 5 9 年度に新設し、 2 4 年経過している。

- ・ 年数の経過及び、融雪のため散布していた、塩化カルシウムにより腐食が進んでおり、一部分ずつの補修では、どうしようもなくなっている。
- ・ 補修は、階段部の全面取替、排水装置・投下防止柵取替、上部工（平らな部分）・脚柱部の塗り替え塗装で55,000千円、設計費で5,800円合計60,800円を事業費として計画している。
- ・ 平成21年度から平成23年度の事業計画である。
- ・ 改築方法によっては、特定防衛施設周辺整備調整交付金の対象となる可能性があるため、北海道防衛局との協議を予定している。
- ・ JRとも改築方法について協議を予定している。

[協議内容(全体)]

- ・ 車イス等でも使えるような、改築であれば、調整交付金の対象となるのではないかと。
- ・ 街づくり交付金があるが、駅前整備とあわせないと対象にはならない。

[総括]

- ・ 補助、交付金等の対象にならなくても、平成21年度からの改築を行う。

3 その他

(1) 事務事業評価(事後評価)スケジュールについて

[庶務から資料により説明]

- ・ 2次評価のヒアリングを2班に分け6/23から7/4の日程で行い、評価調書の説明者を、課長職とする。
- ・ 6/20の政策調整会議で、ヒアリング実施に向けた事前調整を行う。

[総括]

- ・ 6/19の9時から政策調整会議を行う。